

令和5年度
「総合的な学習の時間」発表会

広島県立三次中学校

三次市議会

広報広聴常任委員会

令和5年度 「総合的な学習の時間」発表会

1 趣旨

新しい発想、意見の聴取と議会に対する理解を深め、政治を身近に感じてもらいたいとのことから出張型の議会報告・懇談会として、高校生との意見交換会を実施してきたが、これに加え、令和4年度には県立三次中学校の依頼を受け、三次市の持続可能な発展に関する提案を発表する「総合的な学習の時間の発表会」に三次市議会として参加している。

令和5年度もこの取組は継続され、11月24日、12月21日に行われた地域活性化案の発表会に全議員を対象として参加してきた。令和6年2月2日には校内で選考された4グループの発表会が開催され、三次市議会から4人の広報聴常任委員会委員が出席し、その他の出席者と共に更に選考を行ったところである。そして最終的に選ばれた2グループの地域活性化案の発表を行うにあたり、「課題の発見、設定による思考力の育成」「三次市の持続的発展に対する自らの気づき」「協働的な活動を通じた他者へ伝える思考力、表現力の育成」というねらいに賛同するとともに、議会をより身近に感じてもらうこと、政治に対する関心の醸成に資することととらえ、開かれた議会の一環として議場において発表会を開催した。

三次（県北）地域活性化 ～市議会議員の皆さんをお招きして～

1 内容

自分たちのこれまでの案を市議会議員さんに説明し、いただいたアドバイスを基に再考しよう。

2 実施日

令和5年11月24日（金） 11：40～12：30

3 会場

広島県立三次中学校 各教室

県北地域活性化案 クラス内発表会

- 1 内容
アドバイスを基に，再考した活性化案を発表する。
- 2 実施日
令和5年12月21日（木） 9：30～11：30
- 3 会場
広島県立三次中学校 各教室

県北地域活性化案 クラス内発表会

- 1 内容
クラス内発表会で選考された4グループが活性化案を発表する。
- 2 実施日
令和6年2月2日（金） 13：30～15：20
- 3 会場
広島県立三次中学校 視聴覚教室

「総合的な学習の時間」発表会

- 1 内容
最終的に選考された2グループが活性化案を発表する。
- 2 実施日
令和6年2月9日（金） 15：30～16：30
- 3 会場
三次市議場

議員アンケート（11月24日）

1.本日の感想

生徒の皆さんの研究課題への取組を聞き、意見交換をすることで、生徒視点での地域への印象や課題を知ることができた。今回の意見交換会で得た意見や感想を今後の議会活動に活かしていきたい。三次の課題と対策などのアクションプランを聞き、参考になった。生徒たちの発表内容をいくつか実現させてあげることが出来ないかと思った。

私が中学3年生の時、そこまで地域の活性化に意識があったかと振り返ると、発表者の皆さんのアイデアとか発想には驚かされました。よく考えています。頑張ってもらいたいですね。

テーマにそって、WEBを活用しながら、よく調べていると思った。地域も庄原、三次市内も全域それぞれききとりもしながら調べていた。どうまとめられるか楽しみだ。

とても楽しい会話ができた。

課題意識（テーマ）グランピングを持っていると感心した。

三次市発展の為色々とおもしろい発想でした。特にピオーネの皮を使っての商品開発、自分たちで売ることまで考えていたので感心した。

B組Bグループ「I♡WANI」についてのプレゼンについて意見交換した。三次のワニ、食文化をもっと有効活用したシティープロモーションの提案、素晴らしい内容だった。もっと個性的に三次をアピールする素材として、ワニを取り上げイベントとしても、グッズとしても広く活用したい思いがしっかり伝わった。広く市外、県外への売り込みについてはほかの自治体との共働、現在、三次の食について発信されている人とのコラボなど、もう少し調査することで良い取り組みが実現すると思う。

中学生自ら地域課題を発見しグループでその課題解決に向けて取組よくまとめてありました。

生徒の真面目な取り組みを感じた

まだみんなの意見がまとまっていない様子だったが、それぞれの考えを話しているのを聞かせてもらおうと、「中学生でもよく考えているな」と感心した。

若い人の意見を聞かせてもらったことは大変よかった。内容は、不十分なところが多くあったが、15才の子供たちの考えを今後に生かせることが大事ではないか。

中学生なりに考えて発表していた。頑張ってもらって色々と考えていると思った。

中学生の提案に対して2名の議員と一緒に考えさせていただいた。とても夢のある大きな音楽イベントの企画で本当は全面的に応援したい内容ですが、予算、場所、誰が？など具体的にイベントを企画する上での細やかな提案をさせて頂いた。しっかり調査されていて、さらに調査を深めて、現実的に可能なイベントにするにはどうしたら良いかみんなで議論してもらえたらと思う。引き続き発表も聞くことが出来るということで楽しみにしている。

2.今後、改善したらいい点があれば

ネームプレートがあればよい。

今回の「総合的な学習の時間」の今後のスケジュール、展開していくシステムが事前にわかっている生徒の声が聞きとれない所があったので改善されたい。ワークショップ形式は取れないか。

人数が多くいたので全員の考えが聞けなかった。もう少し工夫がいるかもしれない。

芸備線存続において、ワニ料理の提供など人を呼び込むアイデアはとても良いと思うので、単にアイデアだけでなく、現在存続活動に取り組まれている団体等しっかりプレゼンしてつながるには何をすべきか、本市出身の人々やまた議会でも、沿線市で議員連盟を組織しているので、積極的に提案頂きたいと思う。1つでも2つでもそういうところの賛同を得たいという発表になれば良いと考える。

生徒一人一人の全員の意見が聞けなかった。（時間が足りなかった）時間配分の調整をしてほしい

説明を聞く時間が短い

説明の内容をしっかりとらえてほしい。実態調査を掌握してほしい。

まとめていくまでに、よく下調べをして行うべきだと話しておいた。（実際に取り組んでいるアプリの提案であった）意外と三次市のことを知らないと感じた。

当日の様子（11月24日）



議員アンケート（12月21日）

本日の感想

発表されたグループそれぞれがよく調べていることに驚きました。中学校3年生とは思えない報告でした。特にデータを活用している点は説得力があるし、パワーポイントの映像も完成度が高く見る人をひきつけてやまない内容でした。発表者も慣れたもので、その発表にもリズムとテンポを感じて聞き心地が良かったと思います。多くのグループが最初に三次市の課題を人口減少、少子高齢化と発表していました。なぜ、そのことが三次市の課題なのか。そこを明らかにして発表してほしい。だからこれこれをやりますという流れになればもっと良かったと思います。1つのグループで納税者が減ると言っていたのが印象に残りました。とにかく、中学校3年生でここまでの発表ができることは、力をつけている証拠で将来が頼もしいです。

事前に当日の仕組みが分かると…各発表班に一言メッセージでも書いてあげればよかった（何か気づきがあった人のみ）ワニの列車とコンポスト好き ワニサミットも好き みんな立派な発表でした。

どのグループも前回のプレゼンの時よりレベルアップしており、感心しました。導入からまとめ（仕上げ）まで三次市の課題等をまとめあげていました。時間配分もそれぞれのグループごと（13分～15分）で発表できていました。2月に議場で発表される（2グループ）を楽しみにしております。

11月26日に伺った際のアドバイスを真摯に受け止めブラッシュアップされた素晴らしい発表であったと思いました。中学生の生活範囲や情報量、経験値の中であれだけの発表ができたこと、年々グレードも上がっているように感じました。今後も継続できればと思います。

前回から少しの時間で良い仕上がりでびっくりしました。アドバイスを入れてくれて、発表の後もその場で修正する姿はとても中学生とは思えませんでした。最終の発表も楽しみにしています。県立三次だけでなく、三次市立の中学校も同じ取り組みをしてほしいと思います。

中学3年生でこのような研究発表ができるのはすごい。我々議員も日頃より観光振興はそれぞれ考えているがそれぞれの班で新しく気づかされたことを記したい。 B組D”SNSでの分析”年代別男女でどのターゲットにどのSNSが良いかは参考になった。B組C”空き家バンクを改良せよ”農業体験は収穫を”B組Bワニという一点集中での提案もおもしろかった B組E廃校利用でコスプレ撮影学校給食レストラン地元民も楽しめる提案が良かった。B組Aピオーネ搾りかすのオイル化 ピオーネ×カフェの提案も良かった

前回発表時に比べ資料の内容やプレゼンの内容が全体的によくなっていた。議員からのアドバイスを参考としながら、グループ内での改善取組への努力が伺えた。三次市の将来について真剣に考えられていることが伝わってきた。いったん市外に出ても将来三次に帰ってくれることを期待したい。地域活性化に対する生徒の熱い思いを感じた。

それぞれの計画は大変よかった。具体的計画になると難しいものもあるようです。財政上の問題や、人口減少による人手不足。とりわけ農業分野の人手不足は進んでいくことになります。ピオーネの政界進出はすごいけれど、今はどこでもぶどう生産が増加しているのではないかと。ぶどうのカスの飼料に活用は、今後進めていく必要が有ると思う。SDGsにつながる取組は必要です。

人口減少や空き家の増加についてのテーマから、アプリを使ったスタンプラリーなどを提案しておられました。今回、観光客に三次のどこに来てくれているのか。またどのような年齢層がどのようなタイミングできているのか。観光地の宣伝方法など、いろいろ調べられて生かされていたと感じました。交通機関で来る人向けや、子育て中の家族は車で来ることも多いところなどなかなか絞られてよかったと思います。スタンプラリーの得点にも工夫があって、興味深く聞かせて頂きました。ありがとうございました。

発表されたグループ全体的に、三次の現状や課題を的確に分析をされており、中学生が考えたあるべき姿に向かうための方策を、よく調べていたと思います。特に、具体的な数値を調べて、整備計画を立てているグループもあり、実際に議会にて一般質問で提案しても良いような内容になっていたと思います。受け持ちグループは、もののけミュージアムへの観光客増を含めて、三次市の来訪者が増えるための方策が具体的に示せていたと思います。新しいゆるキャラの選定やインスタの活用など、すぐに取り掛かることが出来る内容もありました。また、大きな費用は掛かるが、周辺環境が寂しい現状となっている三次東インターの活性化となりうるイルミネーションの設置など、夢のある提案もあったと思います。最終発表にむけてさらなるブラッシュアップを期待しています。早くから議員がアドバイスなどをしていたので、全体的に実現性のある活性化案になっていたと感じました。一方では、受け持ちのグループでも指摘したのですが、若干、実現性を重んじるために、中学生らしさに抜けた案になっているグループもありました。中学生に現時点で考えている、若い人なりの自由な発想による発表もあっても良かったのではないかと思います。

当日の様子 (12月21日)



当日の様子（2月2日）



議員アンケート（2月9日）

本日の感想

今までは、同じ中学生の前での発表ではなく議員の前での発表という誰もが人生の初の経験であったと思います。そしてそれは心臓のドキドキが聞こえたり、背中にも汗をかくほどの緊張ではなかったでしょうか。そんな貴重な体験は、そんなに出来るものではないと思います。それでも堂々と発表された姿は立派でした。

「貴方もワニに恋しませんか？」について ワニが広く認識されることは、良いと思いますがこれだけでは観光客は増やせないのではないかと。何かとコラボできるものが必要ではないかと。ワニおこフェスタ 全国サメまつりサミットは面白いと思います。「三次に住もう!! F R E Eな移住体験」について 人口減少 空室増加するばかりです。対策が必要です。移住したい人はたくさんいます。この人たちに来てもらうためには何が必要か考えていました。今後の参考になります。

これまで一回目に取組のアドバイス、次に発表会、次に広報広聴常任委員会で最終発表会に参加させていただき、今回4回目に選ばれた2組の発表を聞かせていただいた。一番最初のアイデアからは考えられないほど説得力のあるエビデンスは議員顔負けの調査能力だと本当に関心感動しました。私たちが教えてもらうことが多くありました。そして、2組とも前回のプレゼンよりも緊張していましたが、議員の前でも堂々とそして楽しそうにプレゼンしている姿はとても頼もしかったです。特にwe love wani のプレゼンに関しては、三次で若干ニッチな伝統食であるワニを、さまざまな課題解決と絡めての提案が素晴らしいと感じました。芸備線の問題、SDGsの問題、観光、地域産業、伝統文化と様々な要素が含まれていること、きちんとエビデンスをとっていること、若者の視点でSNSなどを意識したビジュアルもしっかり考えられていることが、若い視点でのこれからの地域の課題解決における可能性を感じました。こういった機会をつくることが主権者教育に繋がります。また、地域課題の解決を考えることで地域参加や政治への関心を深めることにつながっていくと実感する機会でもありました。大人である私たちが、彼らが提案してくれたアイデアを形にするために何が出来るか考える必要が有ると思います。子どもたちの提案コンテストのようなものを市内全中学高校等から募り、予算を付けて子供たちが実際にやってみたいという体験が必要ではと感じました。子どもたちの生き生きとした姿がとても印象に残っています。引き続き議会として、子どもたちとの意見交換や交流を続けていけたらと思いました。貴重な機会をありがとうございました。

We Love Waniについて 三次市はワニサメを食す文化があるが、海での捕獲・養殖もないところでワニサメの町として認識され、認知されるのか？少し疑問を感じた。コンポスト作成設置は、鵜飼が観光の目玉だから、鮎ではいけないのか？そのようなことを思いながら聞かせて頂いたが、説明の仕方、あるいは、話の展開は面白さを感じた。三次に住もう!! F R E Eな移住体験について 人口減少に正面から取り組み、空き家に焦点を当て、多彩な移住政策を提案併せて、地域の状況や、三次の安全性を強調しながらの移住推進するありように賛辞を送りたい。

勝ち残ってきた2チームだけあって、中身の濃い発表であったと思います。緊張したことと思いますが、堂々と見えました。議場での経験はなかなか出来ることではないのでこの経験をこれから生かしてください。高校生になっても頑張り続けてください。

2グループとも調査、研究をしっかりされており、特に、東京へ修学旅行に行った折、先進地に向きよく調査し、本市にどのようなことがあてはまるか研究されていると思います。ワニで三次をアピール、移住体験農業体験等で人口増をねらうそれぞれの発表に感動いたしました。まだ中学3年生ですので引き続き高校生になっても調査・研究と学習してほしいと願っております。

本日発表した2つのグループは、多くのグループの中から選ばれたチームだけに、プレゼン内容もしっかりしていた。いろいろと調査をし、データも多く使っていたが、範囲が広がりすぎていた感もあり、もう少し深掘をした方が良かったと思う。昨年12月に三次中学で見た発表に比べ、グループは異なるものの、いろいろなアドバイスを受け入れプレゼンの内容も進化しているものと思う。三次市の将来に危機感を持ち、三次の為に何ができるか、必要かと真剣に考えてくれていることに感心した。高校を卒業したらいったん市外、県外へ出ていくと思うがいずれ帰三し三次市の為に頑張ってくれることを期待する。

両グループとも三次市の現状分析をしっかり行い課題抽出が的確でした。学校でのプレゼン、意見交換の際提案したことを取り入れて頂きPDCAサイクルの実践力の高さが素晴らしいと感じました。リーダーのパフォーマンスだけでなく、発表者全員もっと個性を発揮されればさらに盛り上がるのではないのでしょうか。三次市の特産品、お酒類の紹介「瑞冠」がないのは残念でした。ワニコンポストは是非各学校に設置してほしいし、その他ゴミ箱傘立て・・・いたるところで見れる日期待しています。

みんな立派になって、感動しました。みんなとは発表したチームだけでなく、他のチームも含めてです。高校に上がっても、スライドして引き続き三次市発展のために知恵を貸していただきたい。

2つのグループの発表を聞いてクオリティの高さに大変感銘を受けました。まず、両方に共通して言えるのは数字をうまく活用していることです。改めて感心しました。また、ストーリーがしっかり描かれており見ている人を飽きさせないものでした。発表者の説明のテンポも良かったです。着眼点もよく、よく調べていることに驚きを隠せません。地方の活性化には、確かにお金を稼ぐことも大事です。今日の発表を聞いて市民の方の地域に対する熱量が派生していくこともポイントだと思いました。この発表なども最たる例だと思いました。

生徒の皆さんの研究課題へのプレゼンテーションを拝見し、生徒視点での地元への印象や課題を知ることができた。今回のプレゼンテーションで得た意見や感想を今後の議会活動に活かしていきたい。三次の課題と対策などのアクションプランを聞き、参考になった。今回は、県立三次中学校の生徒であったが、同じように総合的な学習で研究している市立中学校の生徒にも同じテーマでの発表を拝見する機会があればよいと思った。今回は議場で、議員と議会事務局の参加であったが、可能であれば執行部（担当部署）にも参加して頂きたい。改善点というわけではないが、生徒たちの発表内容をいくつか実現させてあげることが出来ないかと思った。

we love wani 三次市独自の他の地域ではあまり食べられていない「ワニ」についてであり、着目点良かった。三次市にとっての大きな課題である芸備線についても触れられており、数値の調査や新しい発想での提案もあり、興味を引く内容であった。三次に住もう!! FREEな移住体験 三次市にとって大きな課題である人口空き家の推移に着目しており、自然体験や農業体験、防災減災から情報発信等、課題から解決に向けてよくできていたと思う。両方の発表に言えることだが、大勢の中で注目されており、とても緊張する発表であったと思うが、しっかりと聞き手に思いを伝えることが出来ていたように感じた、三次市議会の一般質問にしても良いくらいの内容であった。

当日の様子 (2月9日)

